

2024年度定時総会を開催

当連合会は6月11日（火）広島市において、2024年度定時総会を開催しました。

冒頭の芦谷会長挨拶に続いて、「2023年度事業報告」「2024年度事業計画および収支予算」「2023年度決算」「理事の選任」について報告、審議し、原案どおり承認されました。

[【事業計画についてはこちら】](#)

[【新役員体制はこちら】](#)



■ 芦谷会長冒頭挨拶



本日は、皆様方には大変お忙しい中、当連合会の総会にご出席いただき誠にありがとうございます。また、日頃から、当連合会の事業活動に対し多大なご支援とご協力をいただいております、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

さて、現在、政治・経済の情勢は、国内外ともに、不透明感を増しており、将来への展望がなかなか見えにくい状況にあります。我が国は、“30年にわたる長期デフレ経済から脱却し、新たな経済成長への道筋を確かなものにする”ことを重要課題に掲げ、官民を挙げて取り組んでいることはご案内のとおりです。

政府においては、我が国の社会課題の解決自体を成長エンジンに変えることで「成長と分配の好循環」を実現すべく、生産性向上や供給力強化、リ・スキリングなどの支援へかつてない規模で取り組んでおり、民間企業においてもデジタルの活用や新たな事業領域の創出など活動全般の革新に全力で取り組んでいるところです。

当地域も、地域企業の生産性向上や新たな付加価値の創造、人口減少・高齢化に対応した持続可能なコミュニティづくり、カーボンニュートラルへの対応など課題は山積しておりますが、本年は、当連合会にとっても、3年間の中期事業方針の最終年に当たることから、取り組み成果を評価し、新たな段階への足掛かりにする重要な年であると考えています。

具体的な事業計画は、後ほど説明させていただきますが、私からは取り組みの方向性について、3点ほど述べさせていただきます。

1点目は、「地域産業の振興」です。

中国地域の経済活性化に向けては、環境の変化に対応することが肝要です。地域の強みである、ものづくり産業の競争力強化と次の時代を牽引する新産業の創出支援に向け、DXとGX、スタートアップの育成の3つの分野を中心に、産学官の連携を強化しながら取り組みを進めてまいります。

DXについては、デジタル人材の育成に注力するとともに、GXに関しては「中国地域カーボ

ンニュートラル推進協議会」を通じた地域産業の脱炭素化の推進、スタートアップ育成については、産官学が連携して取り組む「J-Startup WEST」の支援等に取り組むこととしております。

更に、今後、成長する分野として期待している観光については、大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭、世界バラ会議福山大会など国際的なイベントを活かしながら、当地域の魅力を情報発信するなど広域周遊観光・インバウンド誘客に向けた取り組みを強化してまいります。

2点目は、「魅力ある地域づくり」です。

人口減少・高齢化が進むなかで、当地域が持続的に成長するためには、時代に即した地域コミュニティの形成が不可欠であると考えております。

地域の暮らしの利便性向上など 地域課題の解決と一次産業のスマート化や地元製品の市場拡大等地域の稼ぐ力の強化に向けて取り組むとともに、地域を下支えする社会インフラの整備促進を進めてまいります。

3点目は、「人材の育成・確保」です。

言うまでもなく、地域の経済や暮らしを支えるのは、“人”であり、人材の育成・確保は、地域の大きな課題です。企業における高度デジタル人材の育成や若者、女性、外国人など多様な人材の活躍促進に取り組むとともに、若者や女性などが働きやすく暮らしやすい環境整備に取り組んでまいります。

我々中経連は、新しい時代への転換点に立っているという認識の下、今申し上げました3つの柱を中心に、ビジョンとして掲げる「活力に溢れ豊かさが実感できる中国地方」の実現を目指して、成果を積み上げ、皆様のご期待にお応えしていく所存でございます。皆様には、是非とも、今まで以上に、当連合会へご提言やご要望を頂くとともに、ご支援のほどをお願いする次第です。

最後になりましたが、本日は、特別講演会の講師に、東京大学大学院経済学研究科教授 渡辺 努様をお迎えしております。渡辺先生は、日本経済の構造的課題をわかりやすく解説され、ベストセラーとなった「世界インフレの謎」の著者でもいらっしゃいます。金融政策、為替相場、物価など日本経済の先行きが読みづらい中で、これからの日本経済の進むべき方向について貴重なご示唆をいただけるものと思いますので、是非こちらもご聴講いただきますようお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。本日はよろしく申し上げます。